

こすりだし（フロッタージュ） （凸版）

はじめに

- ◇ここでは「一般的に使われている版画の名前」を使って紹介する。
小学校、特に低学年ではあまりカタカナの版画の名前は使わないであろうし、ふさわしくないとされる。そこで、「版画の名前」は子どもに命名させると一層よこんで取り組むであろう。
⇒ 「こすってこすって・・・アラジンの魔法のはんが！」
⇒ 「さあ出ておいで！紙にかくれた妖精たち！」
- ◇以降に示す版画の作り方、授業の進め方や取り扱う学年は、あくまでも基本的な参考例である。授業実践をしながら、各校でいろいろ工夫していただきたい。
- ◇寄稿いただいた先生方の、実践から生まれた工夫は大いに参考になると思う。
- ◇資料は前半部分が主として単色刷りが多いもの、後半は多色刷りの例を載せている

□主に取り扱う学年・時間

1年生 2時間

□版画の特徴

- でこぼこした面に柔らかい紙をのせ
その上からクレヨンなどでこすると
思いがけないおもしろい模様が
浮き上がり、子どもたちのイメージ
が広がる
- 紙に隠れた何かが出てくるぞ
- 写すという体験・版あそび



わーおもしろ蝶！

□準備する材料・用具

- ①簡単に破れない柔らかい刷り紙（書道用半紙など）
- ②凹凸のある（でこぼこした）場所、板など ③クレヨン、コンテなど
- ④コンテ止め液（市販のスプレー） ⑤はさみ ⑥のり ⑦画用紙、色画用紙

□授業のながれ

授業のながれ(子どもの活動)

教師の準備・支援・ワンポイントアドバイス

①いろんなでこぼこをさがそう

- ・木の幹 ・でこぼこのある板
- ・はっぱ ・切り株 ・段ボール ・貝殻

①学校のまわりで

- ・できるだけ凸凹のはっきりしたもの

②こすり出した場所やものを決める
なにをこすろうかな



③刷り紙をのせてこすろう

- ・何を使ってこすろうかな
クレヨン、コンテを使って
- ・さあ紙の中から 何かが出てくるぞ

④気に入ったところを切って貼ろう

- ・お魚になった
- ・鳥に見えるよ
- ・ロボットだ
- ・色画用紙にのりで貼り付けてもきれい

②床や地面、木、石、葉っぱ、靴の底
子どもはいろんなでこぼこを発見する

- ・先生も楽しんで
- ・一緒におどろき、よろこんで
- ・こどもの意欲を引き出そう

③乱暴にこすらないように注意する

- ・ゆっくり、紙の中から何が出てくるか楽しもう
- ・一枚の紙にたくさんいろんなデコボコをうつしてもおもしろいよ
- ・チョークでもいいが、作品を残すならコンテがよい

④はさみの使い方を教える

- ・はさみの刃の元を使って
- ・紙を動かしながら切る

○できあがった作品は、先生が

「コンテ止め液」(スプレー)を吹きかけて
おくと粉が刷り紙に定着する

葉っぱからお魚が出てきた！

